

NTT COMWARE'S DAY 2019 リポート

想像を超える未来を
協創しませんか。

NTTコムウェアは、2019年11月21日と22日の2日間、品川インターシティホールにて、「NTT COMWARE'S DAY 2019 ～想像を超える未来を、協創しませんか。～」を開催しました。基調講演や事例セミナー、展示会を通じて、NTTコムウェアの取り組みやソリューション・サービスを実感・体感していただく場となりました。

展示会の各サービスに関する[資料はこちら](#) からご覧ください。

社長挨拶

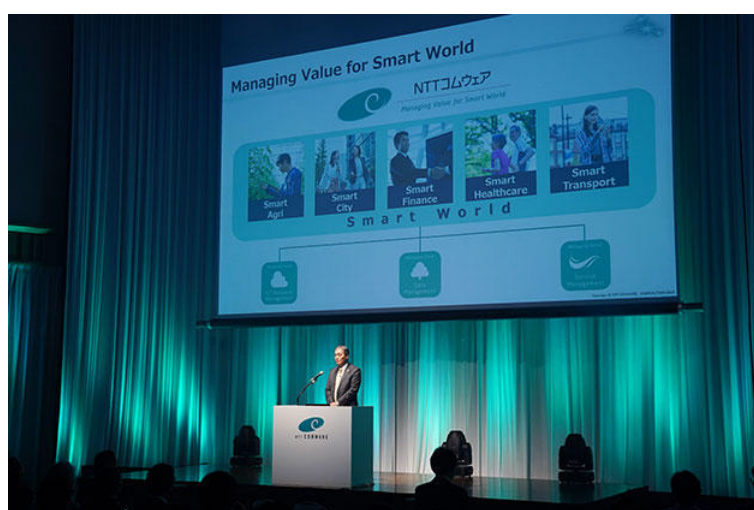
3つの「Managing Value」を通じて、「Smart World」を実現していく

NTTコムウェアは、2年前の創業20周年で、ICTで社会を変えるビジネスインテグレータへ変革することを宣言いたしました。そして、ビジネスの源泉である「Data」とNTTグループで培ってきた資産や知見「NTT Asset」、それらを組み合わせるサービスを創る「Application」を通して、新たなビジネス価値創造に取り組んできました。

今後、さらにビジネスを加速するために、私たちNTTコムウェアは3つの「Managing Value」をご提供します。具体的には、自動的かつ自立的に運営する技術を支援する「ICT Resource Management」、有効で信頼のあるデータを効率的に集めて活用する「Data Management」、サービスを組み合わせる新しいビジネスを創っていく「Service Management」です。NTTコムウェアでは、これらの「Managing Value」を通じて、「Smart World」に貢献していきたいと考えております。



栗島 聡
代表取締役社長



基調講演

AI&ビッグデータ活用を通じて築く持続可能な未来

株式会社ブレインパッドの草野隆史氏は「さまざまな社会課題を解決するには、データ活用が不可欠」と増え続ける多種多様なデータの世界を説明した上で、データを生み出すITシステムと人材の位置付けについて問題提起しました。

草野氏は、日本におけるITは、長らく、付加価値ではなくビジネスをバックアップする存在であったとし、開発・保守が外注され自社のIT技術者が不足しているため、データサイエンティストが分析以外にITやビジネスの理解が求められると説明しました。一方、アメリカでは、“攻めのIT”としてビジネスのコアとしての投資が盛んに行われ、自社の層の厚いIT技術者がビジネスに関わるため、データサイエンティストは分析に特化した存在として扱われると述べました。さらに、アメリカをスタンダードとする最新技術や新たなツールはこうした環境を前提とした仕組みとなるため、日本にとっては今後より一層取り入れにくくなり、データ活用が困難になる懸念を示しました。

こうした状況から挽回するためにも、今後企業がITに投資して他社との差別化を実現するには、どんなデータを使い、どんなAI技術を用いて、どんなサービスで付加価値を生み出すかという、ビジネスとITを融合させる部分が重要になってくるとしました。そして、世界で最もデータを持っている企業の1つと考えられるGoogleでさえも、多くのサービスを終了させた上で今のサービスがある事実を踏まえ、日本の現状を打破するためには、「業界全体でリスクを取り、何度失敗しても、チャレンジするしかない」と強く訴えました。



草野 隆史 氏
株式会社ブレインパッド
代表取締役社長



人と関わるロボットと未来社会



石黒 浩 氏
大阪大学基礎工学研究科教授
(荣誉教授)
ATR石黒浩特別研究室室長
(ATR フェロー)

ロボット研究の第一人者である石黒浩氏によれば、ロボットは単に便利な世の中を実現するだけではなく、人間がどこまで進化するか見極められる存在であり、未来は人間とロボットが対話・共生する社会になるといいます。

現在、アンドロイドは意図や欲求を持たせることで人間らしく会話できるレベルになりましたが、内容が限定される状況下での話であり、ロボット自体も高額で壊れやすいという課題が残されています。

そんな対話型ロボットのサービスが普及する鍵になるのは、自動運転の電気自動車であると石黒氏は予測します。自動運転は、地方の特に高齢者にとって需要があると見込まれますが、安全で快適な自動運転を実現するには対話機能が必要です。運転中の車内というロボットへの会話のパターンが限定されることがAIと相性がよく、まさにうってつけの環境といえるからです。

社会に共生する対話型ロボットは「スマホを超える新しいインフラとなる可能性さえも秘めている」と訴えます。そして未来には、「ロボットが進化することで、人間についてより考える社会になって欲しい」と締めくくりました。



事例セミナー

農業×ITビジネス協創に向けた挑戦



稲田 信二 氏
アースサイドグループ
株式会社スプレッド
代表取締役社長

植物工場事業に取り組んでいる株式会社スプレッドの稲田信二氏は、持続可能な農業システムの構築にむけて、海外展開も見据えた自動栽培工場『Techno Farm™』を設立し、FC展開での早期拡大について説明しました。また、IoTの活用により、植物工場から得られる各種データをビッグデータとして蓄積し、AIで栽培技術を進化させながら、農業生産の分野において新たな価値を生み出す仕組みをめざしていると述べました。

この『Techno Farm™』のIT構築に関するビジネスパートナーであるNTTコムウェアについて稲田氏は、「どのようなデータを集め、どう見えるようにすればいいのか」という課題に、両社で連携しながら取り組むことができたと述べました。さらに、栽培環境や生産実績など各工場の情報を「見える化」することで、生産課題の早期発見を実現できたと、この連携について評価しました。今後も、アジャイル思考でのアプローチや先進技術の活用で、農業とITビジネスの協創を推進していきたいと述べました。



NTT COMWARE'S DAY 2019 リポート
想像を超える未来を協創しませんか。

「2025年の崖」はビジネス変革の"機会"である ～テクノロジー・プロセス・カルチャーがもたらすDX変革～

レッドハット株式会社の北山晋吾氏は、「2025年の崖」における既存システムへのアプローチは、プロセス改善が優先であり、DXの障壁になる企業文化の変革が必要と述べました。また、既存システムのブラックボックス化を防ぐためには、「内製化という手段もあるが、事業のコアではない部分はシステムを理解して利用していけばよい」という選択肢を示しました。さらに企業が既存のプロセスや組織を変革し、よりよいサービスやソフトウェアをユーザーに早く提供すること、及び、これからのデリバリパフォーマンスの重要性について例を挙げて説明しました。その上でクオリティの維持のために継続的な改善が必要になること、それらのビジネス要求に応えるためにクラウドサービスの活用を提唱しました。

レッドハットとNTTコムウェアとの協業により開発したクラウドサービス「SmartCloud® Duo」は、コンテナプラットフォームとして開発から商用環境までDevOpsサイクルを実現しています。講演の最後に、「コンテナ技術の活用により、環境を全く意識しない世界を構築することができる」とビジネス変革への利用を訴えました。



北山 晋吾 氏
レッドハット株式会社
Cloud Solution Architect
OpenShift アーキテクト



展示会

「ビジネス協創」「BizDevOps」「データ活用」「ICT基盤高度化」「プロセス改革」という5つのゾーンで構成し、「Smart World 実現へ ～新ビジネス事業コンセプト～」という紹介コーナーを設けました。ミニセミナーでは、各技術・ビジネスの有識者による解説やデモを行いました。

展示会の各サービスに関する[資料はこちら](#) からご覧ください。

NTT COMWARE'S DAY 2019 リポート
想像を超える未来を協創しませんか。



「ビジネス協創 Business Collaboration」ゾーン

DXによってお客様と共に創り出す新しい社会、ビジネスの姿を紹介しました。

[関連資料はこちら](#)



「BizDevOps Business Process Acceleration」ゾーン

ビジネスからIT、データ活用まで、一気通貫で実現するNTTコムウェアのチカラを紹介しました。

[関連資料はこちら](#)



NTT COMWARE'S DAY 2019 リポート
想像を超える未来を協創しませんか。

「データ活用 Data Exploration」ゾーン

ビジネス拡大や業務効率化実現に向け、データを収集・分析し、アクションにつなげるデータマネジメントの仕組みを紹介しました。

[関連資料はこちら](#)



「ICT基盤高度化 Advanced ICT Infrastructure」ゾーン

ビジネス創出・拡大、プロセス遂行・継続改善を支えるICT基盤を紹介しました。

[関連資料はこちら](#)



「プロセス改革 Business Process Transformation」ゾーン

新たなビジネスモデルにも柔軟に対応し、ビジネスの成長を促進させるプロセス自動化／効率化の仕組みを紹介しました。

[関連資料はこちら](#)



「Smart World 実現へ ～新ビジネス事業コンセプト～」ゾーン

NTTコムウェアの3つの「Managing Value」である「ICT Resource Management」「Data Management」「Service Management」について紹介しました。

[関連資料はこちら](#)



NTT COMWARE'S DAY 2019 リポート
想像を超える未来を協創しませんか。

ミニセミナー



NTT COMWARE'S DAY 2019 リポート
想像を超える未来を協創しませんか。

タイトル	講師
Attention, Please! Secret Garden of Natural Language Understanding #3	川前 徳章 ビジネスインキュベーション本部 エバンジェリスト(データサイエンティスト)
DevOpsサイクルを実現するビジネスオーケストレーションクラウド 「DevaaS® 2.0」、「SmartCloud® Duo」	立山 崇之 ネットワーククラウド事業本部 スペシャリスト
エンタープライズRPA –RPA導入のNEXTステージとは–	武居 智子 エンタープライズビジネス事業本部 スペシャリスト
スピードを優先してセキュリティに目をつぶってませんか？ DevaaS® 2.0で実現するDevSecOps	小田 真幸 ネットワーククラウド事業本部 スペシャリスト
スポーツでのパフォーマンスを測ってみよう！	中里 英則 ビジネスインキュベーション本部 統括課長
画像認識AI「Deeptector®」 GUI(クライアントツール)のご紹介	湯浅 千鶴子 ネットワーククラウド事業本部 スペシャリスト
自然言語処理の最新動向とNTTコムウェアの取り組み	小柳 隆人 ビジネスインキュベーション本部 メンバ
オンプレミス、クラウド環境に対するハイブリッドIAM ソリューション Evidian IAM Suiteのご紹介	オリビエ・イサテル 氏 EVIDIAN-BULL JAPAN 株式会社 日本統括マネージャー/CTO
【カスタマーサクセスに向けた仕掛け作り】 SFAの入力を楽にする「営業支援BOT」	鈴木 秀典 エンタープライズビジネス事業本部 スペシャリスト 五味 二千菜 エンタープライズビジネス事業本部 メンバ

記者発表会

**●NTTコムウェアとAtos、セキュリティー事業の拡大に向けた
戦略的協業の開始
～国内初、ハイブリッド型IDライフサイクル管理の自動化を実現～**

関 洋介(左)
取締役
ネットワーククラウド事業本部
サービスプロバイダ部長

ピエール・バルナベ 氏(右)
アトス 上級副社長
ビッグデータ アンド サイバーセキュリティ ヘッド
アトスグループ CSO

[> 詳しくはこちら](#)

**●AIを活用した工事検査の効率化及び品質向上
～AIを活用した鉄筋継手の検査業務効率化をめざし、現場トライアルを開始～**

澤 秀雄(左)
エンタープライズビジネス事業本部
産業・公共ビジネス部長

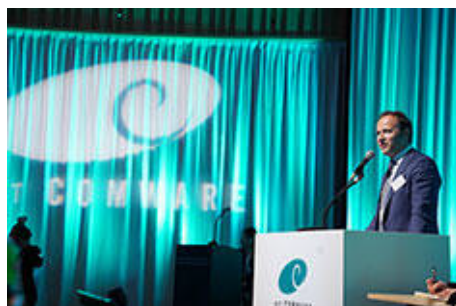
井筒 豪一(右)
テレコムビジネス事業本部
光マネジメントBU担当課長

[> 詳しくはこちら](#)



NTT COMWARE'S DAY 2019 リポート
想像を超える未来を協創しませんか。

会場写真



NTT COMWARE'S DAY 2019 リポート 想像を超える未来を協創しませんか。



- ※ 商品およびサービスの内容は、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ※ 「DeepTector」、「SmartCloud(スマートクラウド)」、「DevaaS」は、NTTコムウェア株式会社の登録商標です。
- ※ その他、記載されている社名、商品名などは、各社の商標または登録商標である場合があります。
- ※ 所属部署、役職等については、取材当時のものです。



NTTコムウェア株式会社

URL : <https://www.nttcom.co.jp/>

WEB 掲載 : 2019.12